

平成24年度朗読奉仕員養成講座 閉講式

9月4日から全12回のコースで開催された「朗読奉仕員養成講座」の閉講式が12月4日(火)に行われ、受講生6名の方への修了証書授与が行われました。



朗読奉仕員養成講座とは？

笛吹市社会福祉協議会では視覚障がい者が安心して住める地域作りを目的として、視覚障がい者へ情報を提供するお手伝い（声の広報事業）を行っております。現在、6つの朗読ボランティアサークルが広報「ふえふき」や社協広報「かけはし」等の情報を音読によりCDに録音し、利用者15名に届けています。

視覚障がい者の方に情報を届ける活動を行う、朗読奉仕員を養成するため、毎年、当講座を開催しています。

スキルアップのため、実際に声の広報活動を行っている朗読ボランティアサークルの方も受講生として参加しました！



受講生の皆さんは、毎回熱心に学ばれていました。ぜひ、実際に声の広報活動に関わっていただき、講座で学んだことを生かしてください。

講師の有泉春枝先生



閉講式では、宮嶋事務局長から受講生へ修了証書とCDが渡されました。

閉講式後は、受講生が講座で録音した広報音訳CDの視聴を行い、有泉先生から評価をいただきました。★プレクストークで視聴

プレクストーク
PTR2
(録音・再生)



こちらは、プレクストーク
PTN2 (再生のみ)

実際に視覚障がい者の方はこの再生装置を使って声の広報のCDを聞いています。
ボタンを押すと全て音声が出るようになっています。

毎月、専用の封筒にCDを入れ、利用者へ発送しています。

講座終了後の活動はどうなるの？

視覚障がい者は、視覚から情報をとることが出来ませんが、通常、人が情報を得るのは80%が視覚から入る情報からだと言われています。
3. 11以来、視覚障がい者に的確な情報を届ける活動がますます重要視されてきています。

今後も、笛吹市社会福祉協議会では、朗読ボランティアの方々と一緒に良い事業を行っていきたいと考えております。

講座終了後は、実際に声の広報活動を行っている朗読ボランティアサークルに入会し、活動を行ったり、また新規サークルを立ち上げるなどして活動しています。昨年は講座修了者達が新しく「こだま」というサークルを立ち上げ、活動しています！